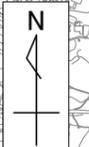


# 令和5年度 濁池 (1041001) +奥迫川大池 (1041002) +奥迫川新池 (1041003) +奥谷池 (1041005) +出羽殿池 (1041006) +迫川大池 (1041007) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】  
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。  
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料\*として活用していただければと考えています。  
 \*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破堤し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。  
 破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331041001
旧番号	33100B001
名称	濁池
堤高	4.4 m
貯水量	7.7 千m3
番号	331041002
旧番号	33100B002
名称	奥迫川大池
堤高	6.2 m
貯水量	19.1 千m3
番号	331041003
旧番号	33100B003
名称	奥迫川新池
堤高	6.7 m
貯水量	6.2 千m3
番号	331041005
旧番号	33100B005
名称	奥谷池
堤高	4.9 m
貯水量	0.8 千m3
番号	331041006
旧番号	33100B006
名称	出羽殿池
堤高	5.1 m
貯水量	8.3 千m3
番号	331041007
旧番号	33100B007
名称	迫川大池
堤高	6.9 m
貯水量	71.1 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】  
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合  
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合  
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】  
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例

岡山市が開設する避難場所兼避難所  
 ●避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。  
 ●避難所：一定期間生活するための施設のことです。

その他の避難場所  
 ●各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。  
 ●未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況

5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m～5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m～3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m～2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m～1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水